

※この資料は、県ホームページでも公開しています。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/inasakugijyutujyouhou.html>

## 令和8年 稲作情報 vol.6

〔問い合わせ先〕 南会津農林事務所農業振興普及部 Tel 0241-62-5262  
 南郷普及所 Tel 0241-72-2243  
 J A 会津よつば田島営農経済センター Tel 0241-63-1172  
 南郷営農経済センター Tel 0241-72-2554

### ●チェックポイント

**穂ばらみ期～出穂期にかけて湛水管理を行いましょう。**

**高温時には「飽水管理」を行いましょう。**

**いもち病、斑点米カメムシ類の防除を適期に行いましょう。**

#### 1 気象情報（仙台管区気象台 7/16 発表、1 か月予報 7/18～8/17）

向こう1 か月は暖かい空気に覆われるため、気温は高くなる見込みです。期間の前半は雨や曇りの日が多く、期間の後半は晴れの日が多くなる予想です。

#### 2 生育状況（7月15日現在）

草丈は平年よりやや短く、葉数は平年よりやや多かったです。茎数は、下郷町の「里山のつづ」は少なく、只見町の「コシヒカリ」は多かったです。幼穂形成期は平年より1～2日程度早まりました。

表1 作柄判定ほの生育状況

| 品種名（場所）     | 幼穂形成期         | 草丈（cm）    | 茎数（本/m <sup>2</sup> ） | 葉数（枚）      | 葉色（SPAD）       |
|-------------|---------------|-----------|-----------------------|------------|----------------|
| 里山のつづ（下郷町）  | 7/9<br>（－2日）  | 55.6（94%） | 424（84%）              | 9.6（+0.1）  | 45.4<br>（103%） |
| コシヒカリ（只見町）  | 7/15<br>（－1日） | 60.4（90%） | 496（107%）             | 10.4（+0.3） | 37.3<br>（104%） |
| ひとめぼれ（南会津町） | 7/9<br>（－2日）  | 59.1（96%） | 459（100%）             | 10.2（+0.1） | 30.5<br>（88%）  |

※括弧内は平年値比

### ～農作業中の熱中症に注意！～

県内では毎年5月上旬から農作業中の熱中症が発生しています。暑さに体が慣れていない梅雨時期や梅雨明け直後は特に注意が必要です。



熱中症対策チラシ（県HP）

### 3 水管理 ～高温時には対策を～

気象庁の3か月予報では、向こう3か月の気温は平年並か高いと予想されているため、玄米品質を低下させないためにも、水管理の徹底を行ってください。

#### (1) 穂ばらみ期（出穂前5日）～出穂期

この時期の水不足は不稔を招くため、2～5 cm 程度の湛水管理とします。

また、出穂直後に台風やフェーン現象に遭遇すると風や乾燥により褐変粃や不稔粃が発生しやすくなるので、深水管理を行いましょう。

#### (2) 登熟期

間断かんがい（入水後、3～5日かけて自然落水させ、落水後に入水を繰り返すこと）を行いましょう。開花25日頃までは米粒が急激に大きくなるので、田面が白く乾かないように注意しましょう。

登熟期間中に高温が続く場合は「**飽水管理**」を行いましょう。

（田面は湿っており、足跡に水がたまっている状態）

早期の落水は、乳白粒等の発生による品質低下の要因となるため、落水は出穂後30日以降（9月上旬）を目安に行いましょう。



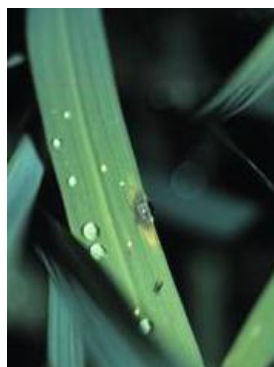
写真 飽水管理

（提供 福島県農業総合センター）

### 4 いもち病防除

いもち病は梅雨時期の低温・多雨・日照不足により発生しやすくなります。

ほ場に以下の写真のような病徴を見つけたら適切に防除しましょう。  
（ブラシフロアブル等、稲作情報 Vol.5 参照）



写真：いもち病の病斑（提供：福島県農業総合センター）

＜葉いもちの感染好適出現状況（BLASTAM）について＞

福島県病害虫防除所 HP にて、葉いもちに感染しやすい日の判定結果を掲載していますので、参考にしてください。



病害虫防除所 HP

## 5 斑点米カメムシ類対策

南会津地域で多く発生しているのは以下の3種です。

1000粒に2粒斑点米があると、2等に落等してしまうので、適切な防除により斑点米の発生を防ぎましょう。



アカスジカスミカメ  
(体長4～6mm)



アカヒゲホソミドリカスミカメ  
(体長4～6mm)



ホソハリカメムシ  
(体長10mm)

### (1) 耕種的防除（7月）

斑点米カメムシ類の餌となるイネ科雑草が出穂する前に、畦畔や周辺の草刈りを行いましょう。

出穂以降の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田に追い込むので、出穂10日前までに終わめしょう。その後は、イネの籾が固くなる出穂3週間後頃まで草刈りは行わないようにしましょう。

### (2) 化学的防除（8月）

水稻が出穂すると斑点米カメムシ類は水田に侵入し、吸汁します。薬剤散布は以下のとおり、2回行うのが基本となります。

#### 【粉剤、液剤の場合】

- ・1回目 乳熟期（出穂期の7～10日後）
  - ・2回目 1回目散布の7日後
- いずれも稲の穂にかかるように散布してください。

#### 【粒剤の場合】

- ・1回目 穂揃期に湛水散布
- ・2回目 1回目散布の7日後に散布剤を散布

**次回 適期収穫・乾燥調整について**  
**9月上旬発行予定**

**令和8年度農薬危害防止運動中！**

**実施期間：令和8年6月10日～9月10日**

農薬使用前のラベルの確認、防護服等の着用、誤飲防止、周辺への配慮、飛散防止に注意めしょう。